

2023年1月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 清水建設株式会社

コード番号 1803 URL https://www.shimz.co.jp

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 和幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山口 充穂

TEL 03-3561-1111

四半期報告書提出予定日 2023年2月1日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,320,044	31.6	28,151	14.3	29,891	△0.1	21,468	△8.8
2022年3月期第3四半期	1,003,328	△2.6	24,625	△65.1	29,920	△60.2	23,535	△57.4

（注）包括利益 2023年3月期第3四半期 24,616百万円（119.9％） 2022年3月期第3四半期 11,195百万円（△83.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	29.02	ー
2022年3月期第3四半期	31.50	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,390,848	886,911	34.8
2022年3月期	2,128,356	875,172	38.7

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 833,111百万円 2022年3月期 824,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	11.50	ー	11.50	23.00
2023年3月期	ー	10.50	ー		
2023年3月期（予想）				10.50	21.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2022年3月期の中間配当金及び期末配当金には、それぞれ特別配当1円50銭が含まれております。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,960,000	32.2	71,500	58.4	70,000	38.8	51,500	7.8	69.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 3社（社名）SCB Boylston PO, LLC、SCB Boylston Holding, LLC、SC Boylston Investment, LLC
除外 1社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	788,514,613株	2022年3月期	788,514,613株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	47,610,883株	2022年3月期	50,309,352株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	739,704,502株	2022年3月期3Q	747,172,048株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報を勘案して作成しています。このため、今後の経済情勢の変化等によって、実際の業績は異なることがあります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページに記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」及び本日（2023年1月31日）公表の「決算説明資料」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の流行が拡大と収束を繰り返す中、各種制限の段階的な緩和により社会経済活動は正常化に向けた動きが見られましたが、ウクライナ危機の長期化や円安の進行、それらに伴うエネルギー資源、食料の世界的な供給制約と価格上昇が企業活動と国民生活に広く影響を及ぼしました。

建設業界においては、民間設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、建設資材の価格高騰などの影響があり、厳しい経営環境が続きました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、完成工事高及び開発事業等売上高の増加により、前年同期に比べ31.6%増加し1兆3,200億円となりました。

利益については、完成工事高の増加により完成工事総利益が増加したことなどから、営業利益は前年同期に比べ14.3%増加し281億円となりました。経常利益は支払利息が増加したことなどから0.1%減少し298億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は8.8%減少し214億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、受取手形・完成工事未収入金等の増加などにより、前期末に比べ2,624億円増加し2兆3,908億円となりました。

負債の部は、連結有利子負債や支払手形・工事未払金等の増加などにより、前期末に比べ2,507億円増加し1兆5,039億円となりました。なお、連結有利子負債の残高は6,699億円となり、前期末に比べ1,748億円の増加となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ117億円増加し8,869億円となりました。なお、自己資本比率は前期末に比べ3.9ポイント低下し34.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、第4四半期連結会計期間に複数の開発物件の売却を予定しており、また、当社グループを取り巻く景況感は概ね想定範囲内であることから、現時点では2022年11月8日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	250,134	213,914
受取手形・完成工事未収入金等	684,217	873,763
有価証券	37,000	60,000
販売用不動産	7,097	26,394
未成工事支出金	30,742	40,663
開発事業支出金	14,419	21,581
その他の棚卸資産	2,909	2,873
その他	124,711	175,148
貸倒引当金	△1,147	△1,226
流動資産合計	1,150,085	1,413,112
固定資産		
有形固定資産		
土地	298,667	288,709
その他(純額)	315,957	332,873
有形固定資産合計	614,625	621,583
無形固定資産		
投資その他の資産	21,069	21,051
投資有価証券	326,835	318,997
その他	17,671	18,017
貸倒引当金	△1,930	△1,915
投資その他の資産合計	342,576	335,100
固定資産合計	978,271	977,735
資産合計	2,128,356	2,390,848
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	325,953	377,044
短期借入金	130,609	301,248
1年内返済予定のノンリコース借入金	8,758	8,833
コマーシャル・ペーパー	50,000	30,000
1年内償還予定のノンリコース社債	13,761	8,424
未成工事受入金	107,630	130,248
完成工事補償引当金	3,353	3,938
工事損失引当金	54,117	44,844
その他	154,009	166,910
流動負債合計	848,195	1,071,491
固定負債		
社債	110,000	110,000
ノンリコース社債	8,208	—
長期借入金	99,945	131,362
ノンリコース借入金	73,857	80,087
退職給付に係る負債	55,899	57,528
その他	57,078	53,466
固定負債合計	404,988	432,445
負債合計	1,253,184	1,503,937

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	74,365	74,365
資本剰余金	43,678	43,692
利益剰余金	592,199	597,735
自己株式	△43,282	△41,299
株主資本合計	666,959	674,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,308	126,379
繰延ヘッジ損益	214	229
土地再評価差額金	25,831	25,495
為替換算調整勘定	△898	5,807
退職給付に係る調整累計額	80	706
その他の包括利益累計額合計	157,536	158,617
非支配株主持分	50,675	53,799
純資産合計	875,172	886,911
負債純資産合計	2,128,356	2,390,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高		
完成工事高	916,572	1,189,295
開発事業等売上高	86,756	130,749
売上高合計	1,003,328	1,320,044
売上原価		
完成工事原価	841,618	1,103,608
開発事業等売上原価	70,430	113,923
売上原価合計	912,049	1,217,532
売上総利益		
完成工事総利益	74,953	85,686
開発事業等総利益	16,325	16,826
売上総利益合計	91,278	102,512
販売費及び一般管理費	66,653	74,361
営業利益	24,625	28,151
営業外収益		
受取利息	509	599
受取配当金	5,015	4,810
その他	2,979	1,386
営業外収益合計	8,504	6,796
営業外費用		
支払利息	1,959	2,946
その他	1,249	2,109
営業外費用合計	3,209	5,056
経常利益	29,920	29,891
特別利益		
固定資産売却益	7,407	6,244
特別利益合計	7,407	6,244
特別損失		
固定資産売却損	25	111
投資有価証券評価損	18	243
特別損失合計	43	355
税金等調整前四半期純利益	37,284	35,780
法人税等	14,134	12,972
四半期純利益	23,149	22,807
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△385	1,339
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,535	21,468

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	23,149	22,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,512	△5,890
繰延ヘッジ損益	43	15
為替換算調整勘定	1,659	6,921
退職給付に係る調整額	△189	633
持分法適用会社に対する持分相当額	43	129
その他の包括利益合計	△11,954	1,808
四半期包括利益	11,195	24,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,694	22,886
非支配株主に係る四半期包括利益	△498	1,730

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

原則として、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	820,133	20,144	163,049	1,003,328	—	1,003,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,254	181	81,330	99,766	△99,766	—
計	838,388	20,325	244,380	1,103,094	△99,766	1,003,328
セグメント利益(注1)	30,764	7,045	9,521	47,331	△22,705	24,625

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでおりません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業、LCV事業及び子会社が営んでいる各種事業を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額△22,705百万円は、セグメント間取引消去等であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,001,952	25,318	292,774	1,320,044	—	1,320,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,996	189	90,966	96,153	△96,153	—
計	1,006,948	25,508	383,741	1,416,198	△96,153	1,320,044
セグメント利益(注1)	21,978	7,707	10,374	40,060	△11,909	28,151

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでおりません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業、LCV事業及び子会社が営んでいる各種事業を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額△11,909百万円は、セグメント間取引消去等であります。

以 上